

## 盛岡発

### 「たかたのゆめ」食味会

震災からの復興を目指して栽培されている陸前高田のブランド米「たかたのゆめ」を味わう会が盛岡で開かれました。このお米は震災の翌年から試験的に栽培が始まった陸前高田のブランド米です。食味会では三陸産の海産物とたかたかのゆめを使った寿司やたかたかのゆめを原料にした地ビールなどが用意され、参加者は今年の米の出来栄を確かめていました。



(11/7 ニュース)

## 山田発

### 共同店舗棟オープン

山田町に復興のシンボルともいえる商業施設・共同店舗棟「オール」がオープンしました。3メートルかさ上げされた町有地0.8ヘクタールに商工会な



どが出資した運営会社がおよそ8億円をかけて整備したものです。2棟ある建物の中には、ス

ーパーを核店舗に山田せんべいの製造・販売業者やクリーニング店、飲食店など10店舗が入居しました。ここは町の津波復興拠点エリアで隣には、グループ補助金を受ける個別の事業所の建設も進んでいるほか、災害公営住宅も建てられています。

(11/10 ニュースエコー)

## 陸前高田発

### 行方不明者の捜索

震災の発生から5年8か月となるのにあわせて陸前高田市の高田松原そばの古川沼で警察と釜石海上保安部による合同の水中捜索が行われました。捜索は海上保安部の潜水士9人が9月に東海大学が行った音波による事前調査の結果をもとにガレキなどが沈んでいる場所を中心に行いました。(11/11 ニュースエコー)



## 大槌発

### じまんカレンダー

大槌町の小学生のキャッチコピーが掲載された「おおつちじまんカレンダー」が完成しました。これはデザイナーや写真家などで組織する日本広告制作協会が被災地支援の一環として制作したものです。



キャッチコピーは大槌学園と吉里吉里学園の4年生児童がプロのコピーライターに手ほどきを受けながら考えました。大槌は

新巻鮭発祥の地とされることに因み「生まれた川に帰ってこお」など子どもたちのコピーは町の魅力を素直に生き生きと表現しています。カレンダー3000部は町民に配られます。(11/13 ニュース)

## 大船渡発

### さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

大船渡「FMねまらいん」の伊藤こずえさんが、今月6日から三陸鉄道三陸駅ホームに飾られたこの地方の冬の風物詩・ころ柿の「柿のれん」について伝えてくれました。今年は大船渡観光物産協会や三鉄のメンバー、地域の子供たちが約3000個のころ柿の皮をむき、ホールに「柿のれん」として吊りました。ころ柿は1か月ほどで食べ頃となり、元旦の特別列車「初日の出号」で振る舞われる予定だという事です。(11/9)

## 宮古発

### さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

みやこハーバーラジオの田澤沙綾さんが、今月26日と27日に宮古市田老で行われる「鮭・あわびまつり」について伝えてくれました。鮭やあわびは冬の三陸を代表する海産物で、イベントでは新巻鮭やあわびの販売の他、水槽を泳ぐ鮭のつかみ取りも行われ、子どもから大人まで様々な方々が参加して一番の盛り上がりを見せるそうです。田澤さんは「たくさんの人たちに祭りを楽しんでいただきたい」と話していました。(11/16)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122